

**令和2年度
事業報告**

社会福祉法人 津市社会福祉協議会

目 次

はじめに	-----	1
重点目標	-----	2
事業報告		
I 法人運営事業		
1 円滑な法人運営	-----	3
2 人材育成	-----	4
3 第2次発展・強化計画の推進	-----	6
4 情報公開の実施状況	-----	6
5 広報・啓発の充実	-----	7
II 地域福祉事業		
1 地域福祉推進体制の強化	-----	7
2 第3次津市地域福祉活動計画の推進	-----	8
3 小地域福祉活動事業の推進	-----	8
4 地域福祉教育推進事業	-----	1 2
5 津市ボランティアセンターの運営	-----	1 4
6 一般介護予防事業	-----	1 5
7 地域福祉推進事業	-----	1 6
8 福祉団体等への支援	-----	1 8
9 管理運営事業	-----	2 0

Ⅲ 生活支援事業

1 日常生活自立支援事業	2 1
2 生活困窮者自立相談支援事業	2 2
3 生活困窮者家計改善支援事業	2 4
4 成年後見サポートセンター事業	2 4
5 生活福祉資金貸付事業	2 5
6 生活困窮者対策支援事業	2 5

Ⅳ 介護サービス事業

1 介護保険サービス	2 6
2 障がい福祉サービス	2 8
3 地域包括支援センター事業	2 9
4 要介護認定調査事業	3 0

Ⅴ 収益事業

1 地域貢献型自動販売機の設置	3 0
-----------------	-----

巻末資料	3 1
------	-----

はじめに

今、私たちの社会では、ますます進む高齢化や人口減少に伴う一人暮らし高齢者及び高齢夫婦のみの世帯の増加等、社会構造の変化により、あらゆる世代にわたる福祉課題・生活課題が顕在化しています。

そのような中、誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、「第3次津市地域福祉活動計画」に基づき、地域住民、関係機関・団体、行政との連携を一層深め、各種事業の推進に取り組み、地域福祉の充実に努めました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症という未経験の脅威にさらされ、その感染防止対策に取り組みながらの活動を余儀なくされる1年となりました。地域での活動に様々な制約が課され、これまで当たり前に行っていた地域福祉活動が行いにくい状況での活動が求められました。

生活支援分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、生活に困窮する方々への生活福祉資金コロナ特例貸付に係る相談、申請が激増したため、組織全体で対応に当たりました。更には日常生活自立支援事業の利用者数の増加や生活困窮者自立相談支援事業での複合的な問題等に対応するため、支援体制の充実や職員の専門性の向上、関係機関との連携強化を図り、個別支援の強化に努めました。

地域福祉分野では、コロナ禍において、新たなそして様々な課題を踏まえて地域福祉を推進するとともに、地区社会福祉協議会や地区民生委員児童委員協議会をはじめとする各福祉団体との連携を図り、ふれあい・いきいきサロンの取り組み方や地域づくりについて検討しました。

また、安定した経営基盤のもとで、時代そして地域に求められる本会事業の更なる充実を図るため、利用者の減少した不採算事業の整理等、各種事業の見直しを行い、経営改善に取り組みました。

以下、令和2年度の事業計画に掲げた重点目標の推進状況や事業区分ごとの取り組みについて報告します。

重点目標

1 経営基盤の強化

経営基盤強化の重要な要素である財源確保については、津市と補助事業及び受託事業に係る補助金、受託金の適正化のための協議を行いました。

また、より効率的かつ効果的な経営を目指して、利用者が減少し収益を見込めない介護事業所の廃止、地域福祉課と津支部の統合を行う等、経営改善に取り組みました。

人材育成については、研修計画に基づき三重県社会福祉協議会が実施する階層別研修や専門研修、その他の研修により、職員の資質向上に取り組みました。

2 地域の見守り体制の充実

コロナ禍により、サロン等の「集いの場」が制限される中、感染防止対策を講じながら活動を続ける方法や工夫について情報提供を行うとともに、サロン活動の代替として、声かけ等による見守り活動を推進し、住民同士の繋がりが途切れないよう地域の活動を支援しました。この見守り活動は様々な形態があり、交換日記やSNSの活用、自己健康チェック表等の配付を通じた見守り活動等、地域住民の創意工夫による新たな取組みが生み出されました。

また、個別の相談に対し、地域ケア会議等の場において解決に向けた協議を行い、福祉団体や関係機関とともに、支えあう地域づくりの推進を図りました。

3 地域福祉教育の推進

学校等においても新型コロナウイルス感染拡大の影響がある中、福祉協力校を指定し、各学校における福祉教育を支援しました。

また、各地区においては、子どもの学習支援活動の推進や新しい生活様式を取り入れた出前講座の実施、子ども食堂等との連携等、地域における子どもを中心とした課題解決の取組みを地域住民及び福祉団体等とともに進めることにより、福祉教育の推進を図りました。

今後も、あらゆる世代の住民が、地域課題の解決に参加できるよう、新しい手法の検討を進めます。

4 相談支援体制の充実

高齢者や障がい者、生活困窮者等の様々な福祉課題・生活課題に対応し、地域住民の生活を支えるため、保健・医療・福祉等の専門機関等と連携・協働し、課題解決に繋がる支援に努めました。

また、事業の拠点化を進め、各種研修への参加を積極的に行うことで、相談支援体制の強化と専門性の向上を図りました。

事業報告

I 法人運営事業

1 円滑な法人運営【重点目標1関係】

法人の意思決定や合意形成の場として、理事会・評議員会をはじめ、各種会議を開催して協議・決定を行い、円滑な法人運営に努めました。

また、法令等の改正に応じた本会規程等の改正を行い、その他の規程等についても適宜見直しを行うことにより、法令遵守に努めました。

財政面では、本会における財務上の課題について分析を行い、利用者の減少した不採算事業の整理を実施する等、経営改善に取り組みました。

(1) 理事会・評議員会等の開催

法人としての意思決定や合意形成の場としての理事会及び評議員会等の開催により、法人の業務執行に関する事項を審議・決定しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面決議により開催した回もありました。

ア 理事会の開催

回数	開催日	開催場所
第1回	6月5日(金)	開催を省略し、書面による同意を得ることにより、理事会の決議があったものとみなされたもの(左記は決議があったものとみなされた日)
第2回	7月1日(水)	津市美里社会福祉センター
第3回	9月8日(火)	津市美里社会福祉センター
第4回	12月11日(金)	津市久居総合福祉会館
第5回	3月15日(月)	津市芸濃庁舎

※各理事会の審議事項及び出席者数は、巻末資料のとおりです。(P31～32)

イ 評議員会の開催

回数	開催日	開催場所
第1回	6月23日(火)	開催を省略し、書面による同意を得ることにより、評議員会の決議があったものとみなされたもの(左記は決議があったものとみなされた日)
第2回	9月24日(木)	津南防災コミュニティセンター
第3回	12月23日(水)	津南防災コミュニティセンター
第4回	3月24日(水)	津南防災コミュニティセンター

※各評議員会の審議事項及び出席者数は、巻末資料のとおりです。(P33)

ウ 評議員選任・解任委員会の開催

回数	開催日	開催場所	審議事項
第1回	6月16日(火)	津センターパレス	・社会福祉法人津市社会福祉協議会 評議員の選任について

エ 監事会、内部監査の開催

監査名	開催日	開催場所	監査事項
内部監査	5月8日(金)	津センターパレス	・令和元年度事業及び会計決算の監査について
監事監査	5月15日(金)	津センターパレス	・令和元年度事業及び会計決算の監査について

(2) 財政の健全化【重点目標1関係】

ア 会員の加入促進による自主財源の確保

貴重な自主財源である会費について、関係事業者及び各種福祉団体に対し、積極的に周知・依頼を行い、加入促進を図りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から、例年加入いただいていた関係事業者等からの賛同が得られなかったケースもあり、前年対比で金額は減少となりました。個人、団体等を合わせ689件（前年度実績677件）の賛同を得て、会費納入金額は1,404,000円（前年度実績1,438,000円）であり、小地域福祉活動支援事業、心配ごと相談事業、外出支援サービス事業、地域福祉活動計画推進及びボランティアセンター事業等の財源に活用しました。

	件数	金額
個人	497件	578,000円
団体・法人	192件	826,000円
合計	689件	1,404,000円

イ 各種基金・積立資産の安全な運用

津市社会福祉協議会資金管理及び運用基準に基づき、大口定期貯金及び地方債により、元本保証性を最優先とした資産運用に努めました。

2 人材育成【重点目標1関係】

階層別研修については、令和2年度職員研修年間計画に基づき、入社後5年未満の職員と昇格した職員に対する研修として、内部研修及び三重県社会福祉協議会の実施するキャリアパス対応生涯研修に参加し、職員の資質向上に努めました。

専門研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの研修が中止となりましたが、インターネット環境を整えたことでオンライン開催での参加が可能となり、専門知識の習得に繋がりました。

安全運転講習及び普通救命講習については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点か

ら実施を見送りました。

ア 階層別研修

研修名	開催日	開催場所	内容、出席者数
新任職員 研修 (4月1日 採用)	4月1日(水) ～3日(金)	津センターパレス	<ul style="list-style-type: none"> ・就業心得、組織体制等について ・会計の概要と予算管理について ・地域福祉事業について ・生活支援事業について ・介護保険サービス事業について 内部講師：総務課職員・地域福祉課・生活支援課・介護サービス課職員 (参加者数：職員6人)
	4月7日(火)	津センターパレス	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人マナー研修 講師：有限会社エム・アール・シー 井ノ口 美津子氏 (参加者数：職員5人)
	12月11日(金)	津市美里社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・現場で活動している先輩の持つ知識やスキルを学び、仕事に取り組む姿勢を考える ・社協職員としてのつながりを作る 内部講師：主事4年目職員 (参加者数：職員8人)
一般職員 研修A (主事A)	10月22日(木)	津市久居総合福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> ・職員としての基本姿勢について 内部講師：総務課長 (参加者数：職員6人)
一般職員 研修A (主事B)	12月11日(金)	津市美里社会福祉センター	上記12月11日(金)の新任職員研修の講師を務める。 (参加者数：職員6人)
一般職員 研修A	11月9日(月) ～10日(火) 又は 11月16日(月) ～17日(火) 又は 11月30日(月) ～12月1日(火) 又は 12月15日(火) ～16日(水)	三重県社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県社会福祉協議会のキャリアパス対応生涯研修課程「初任者コース」を受講 (参加者数：職員4人)

一般職員 研修B	9月8日(火) ～9日(水) 又は 9月29日(火) ～30日(水)	三重県社会福祉会 館	・三重県社会福祉協議会のキャリア パス対応生涯研修課程「中堅職員 コース」を受講 (参加者数：職員3人)
中堅職員 研修	8月4日(火) ～5日(水)	三重県社会福祉会 館	・三重県社会福祉協議会のキャリア パス対応生涯研修課程「チームリ ーダーコース」を受講 (参加者数：職員1人)

イ 専門研修

研修名	開催日	開催場所	内容、出席者数
専門研修	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止		令和2年度東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会

ウ その他の研修

研修名	開催日	開催場所	内容、出席者数
普通救命 講習	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止		
安全運転 講習	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止		

3 第2次発展・強化計画の推進【重点目標1関係】

第3次津市地域福祉活動計画を人材・財源等の面から支援（バックアップ）する発展・強化計画について、第2次計画の2年目として目標の達成に向け取り組みました。

策定項目ごとの取組状況評価については、発展・強化計画推進委員会を開催して進捗状況を確認し、今後の推進等について協議する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員へ関係資料を送付し、意見書にて意見聴取を行うことで開催に代えました。

4 情報公開の実施状況

社会福祉法人津市社会福祉協議会情報公開に関する規程に基づく、令和2年度の情報公開の申請及び開示状況は、以下のとおりです。

(単位：件)

	申請件数	全部開示件数	一部開示件数	不開示件数
件数	0	0	0	0

5 広報・啓発の充実

広報誌の発行（春号・夏号・秋号・新春・臨時号の年5回）、ホームページ（1年間のアクセス数47,738回）の活用により、地域の福祉活動や本会の事業に関する情報を幅広く提供しました。

また、マスコットキャラクター「こころん」の広報物への掲載やグッズの配付により、啓発に努めました。

II 地域福祉事業

1 地域福祉推進体制の強化

(1) 生活支援体制整備事業【重点目標2関係】

生活支援コーディネーターの活動紹介パンフレット等を作成し、地域住民及び地域包括支援センター等の関係団体・機関に周知しました。

また、個別の生活相談への対応や地域の集まり等に出向き、地域ニーズの把握に努めました。生活支援コーディネーターが、地域住民に話し合いの場づくりを働きかけ、地域のことについて住民が主体的に話し合うことで、課題解決に向けた取組みに繋がった事例もありました。

複合的な生活課題に対応するため、分野を超えた多職種連携の取組みについても津市や地域包括支援センター等と協議を重ねました。

コロナ禍で地域活動が停滞する中、企業等多様な主体との連携等、新しい生活様式を取り入れた地域活動のあり方について検討しました。地域の電気店や新聞販売店等日常生活に関連した多様な業種の方とも連携を図ることで、より重層的な見守り活動に繋がった事例もありました。

ア 生活支援コーディネーター通信の発行 6回

イ 地域支援回数 第1層 567回、第2層 2,178回

ウ 地域ケア会議への出席 第1層 31回、第2層 42回

(1・2層間、2層間の重複あり)

エ 地域包括支援センターと社協の情報交換会の開催 33回

オ 地域の「話し合いの場」への参加 第1層 17回、第2層 25回

(1・2層間の重複あり)

2 第3次津市地域福祉活動計画の推進

(1) 事務事業評価の実施

本会の活動の進捗状況を定期的に検証し、地域住民のニーズに対応した効果的・効率的な事業運営を図り、第3次津市地域福祉活動計画に基づいた活動を推進するために事務事業評価を実施しました。

実施時期：3月末

評価事業区分：42事業区分

主な評価項目：事業目的、目標と実績、成果と課題、評価、今後の方向性

(2) 策定推進委員の意見集約

計画の進捗状況を確認するため、津市地域福祉活動計画策定推進委員会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、委員へ関係書類を送付し、書面にて意見聴取を行うことで委員会の開催に代えました。

資料送付日	事項等
5月18日(月)	令和元年度津市地域福祉活動計画事務事業評価の実施について

3 小地域福祉活動事業の推進

(1) ふれあい・いきいきサロン事業(津市受託)

ア ふれあい・いきいきサロン活動支援

「ふれあい・いきいきサロン」が、高齢者や障がい者、子育て中の親子等、誰もが楽しく気軽に行ける「地域の居場所」として、交流や介護予防、地域の絆づくり及び見守り活動に繋がるように支援しました。

また、サロン運営者と協議し、コロナ禍において継続した見守り活動や閉じこもり防止に繋がるように支援しました。

支部名	本会把握 サロン数	活動運営助成金 申請サロン数	新規立上助成 申請サロン数
津	102	83	0
久居	81	34	0
河芸	35	8	0
芸濃	32	18	1
美里	13	13	1
安濃	27	25	1
香良洲	6	3	0
一志	25	20	0
白山	29	13	0
美杉	50	40	1
合計	400	257	4

イ ふれあい・いきいきサロン

本会事業としてふれあい・いきいきサロンを5支部地域で開催しました。4～6月については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

(単位：回/人)

	芸濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
回数	74	152	24	44	146	440
参加者数	438	1,455	172	598	664	3,327

ウ ふれあい・いきいきサロン講習会・交流会

ふれあい・いきいきサロンに関する講習会・交流会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

(2) 子育て支援推進事業

子育て中の親子が地域で孤立することなく安心して暮らすため、交流会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。交流会に代わり、交流会で関わりのある親子に対し、アンケート調査や津市内の子育て支援センター及び児童館主催のイベントの情報提供を行うとともに、ボランティアグループに寄贈いただいたお手玉を送付しました。

白山支部では、福祉団体及び関係機関とともにネットワーク会議を開催し、地域の実状に応じた子育て支援活動の推進を図りました。

支部名	開催日	開催場所	内容、参加者数
白山	9月18日(金) 10月20日(火) 12月15日(火) 2月16日(火)	津市白山保健福祉センター	子育て中の親子を対象とした情報交換の場づくりや、保健・医療・教育・福祉関係者による、発達に不安を感じる児童・親への支援を目的とした勉強会・講座を継続的に行い、「途切れない支援」に向けた子育て支援ネットワーク事業を行いました。 (参加者数：延52人)

(3) 要援護者対策地域見守りネット活動(絆のバトン)事業(津市受託)

70歳以上のひとり暮らし高齢者等に対し、地区社会福祉協議会(以下「地区社協」という。)を通じて、絆のバトンの配付及び継続的な見守り活動を行うことで地域福祉活動の推進を図りました。

ア 事業の実施

33地区社協(北立誠、南立誠、敬和、養正、修成、育生、新町、南が丘、白塚、栗真、一身田、津西、片田、神戸、藤水、高茶屋、雲出、大里、高野尾、豊が丘、榊原、栗葉、戸木、桃園、誠之、芸濃、美里、草生、村主、安濃、明合、香良洲、一志)で実施されました。利用者は、令和元年度より204名増え、4,877人の利用がありました。

イ 絆のバトン説明会

地域における見守り活動の必要性について理解を深めていただくため、地域の依頼に応じて説明会や研修会を6回開催し、133名の参加がありました。

ウ 地域見守り推進研修会

地域見守り推進研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しましたが、コロナ禍での全国各地の地域活動が紹介されている冊子を、地区社協及び地区民生委員児童委員協議会に配付し、地域ぐるみで取り組む見守り活動の啓発を行いました。

(4) 高齢者地域ケア体制推進事業（津市受託）

在宅の要援護高齢者や要援護となる恐れのある高齢者等が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、介護・福祉に関する各種相談に応じるとともに、各種団体と連携し地域の見守りネットワークづくりを推進しました。

なお、高齢者地域ケア体制推進事業は、令和3年3月末をもって廃止となり、生活支援体制整備事業とあわせて包括的に高齢者地域ケア体制を推進することになりました。

相談業務実績

(単位：件)

来所相談	訪問相談	電話相談	その他	合計
450	60	258	57	825

(5) 福祉啓発事業（各種イベント等への参画）

津市内の各地域で行われるイベント等において、異世代間の交流や本会事業の紹介、被災地支援の募金活動、赤い羽根共同募金の啓発等を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が中止となったことから、コロナ禍におけるフレイル予防や見守り活動についてのパンフレット配付による啓発に変更し、実施しました。地域包括支援センター、津市指定事業者（介護予防訪問型サービス・生活支援訪問サービス、介護予防通所型サービス・生活支援通所サービス）、三重県指定事業者（居宅介護支援、訪問介護、通所介護）計395事業者を対象に、3種類のパンフレットを配付しました。

また、津・久居・芸濃支部では、赤い羽根共同募金古本バザーを実施し、共同募金の仕組みや地域での活用方法について啓発を行いました。

(6) その他の小地域福祉活動推進事業

第3次津市地域福祉活動計画における地区別福祉プランを推進し、地域の課題に合わせて小地域における福祉活動がより推進されるよう、以下の取り組みを行いました。

また、生活協同組合コープみえ及び津青年会議所との協定を活かし、生活困窮家庭を対象とする地域の取り組みを支援しました。

地域	取組事業	主な内容
津市全域	新型コロナウイルスの影響に対する助け合い募金	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子ども、障がい者支援団体及び医療関係団体を支援するため、6月8日から9月30日まで津市内72か所に募金箱を設置し、寄附を募りました。集まった募金(総額140,242円)は、全額を療育等で使用する物品購入に充て、医療施設2か所へ寄贈しました。
	「託すマスクのタスキプロジェクト」によるマスク募集	6月1日から12月28日まで津市内20か所にマスクボックスを設置し、未使用のマスクの寄附を募りました。集まったマスク(10,974枚)は、津市内の養護老人ホーム、障がい児入所施設、児童養護施設に寄贈しました。
久居	子ども学習支援“まなびば”	福祉団体及び大学生ボランティアと協働し、小学生、中学生の自主学習の場づくりを行いました。
	子どものいる困窮家庭への支援	「宅食」等の支援活動に取り組んでいる久居地区民生委員児童委員協議会に対し、継続的に食料品の提供を行いました。
	コロナ禍での見守り活動の推進	サロン団体や民生委員児童委員に訪問活動の材料として折り紙セットを提供し、見守り活動の推進を図りました。
芸濃	小地域見守り会議	独居高齢者の生活課題が浮き彫りになり、日ごろから様々な立場で関わる関係者が話し合いを行いました。問題を顕在化させることで住民の主体的な活動へ転換する支援を行いました。
	「芸濃地域のふくしを考える会」専門部会	地域住民で地域の課題を考え、解決方法を共に考える専門部会を開催しました。

白山	サロン交流会	サロン関係者を対象に、新しい体操の紹介や情報交換を行いました。
	地域福祉活動検討会「白山地域の福祉を考える会」	高齢化が進み課題が顕著な地域について、住民と協議、研修等を行いました。
	小地域サロン立ち上げ及び活動支援	地域との課題の共有を図りながら、サロン運営の相談支援や内容の提案を行いました。
美杉	障がい者との交流会 ～ハロウィンパーティー～	作業所利用者と生活支援ハウス入居者を対象に、交流会を実施しました。

4 地域福祉教育推進事業【重点目標3関係】

地域の福祉課題について考え、地域福祉活動やボランティア活動を通じて子どもたちや地域住民の福祉意識を高める機会を設けました。

ア 福祉出前講座等の推進

子どもから高齢者まで幅広い年齢層の地域住民を対象に、福祉意識を高めるための福祉出前講座（延32回、延1,115人）を実施し、障がいのある方との出会い学習や車いす体験、アイマスク体験等を通じて自分たちにできることを考え、福祉意識を高めることに努めました。

また、ユニバーサルデザイン連絡協議会と連携し、ユニバーサルデザイン講座を実施しました。

支部名	件数	対象	主な内容
津	17	小学生 高校生	・傾聴講座 ・車いす体験 ・講話「ユニバーサルデザインについて」
久居	2	小学生	・車いす体験 ・車いすツインバスケットボール体験
芸濃	3	小学生	・講話「赤い羽根共同募金について」 ・ユニバーサルデザイン、アイマスク体験
安濃	1	小学生	・車いすツインバスケットボール体験
香良洲	1	小学生	・講話「ユニバーサルデザインについて」 ・車いす体験 ・アイマスク体験
一志	7	小学生 高校生	・講話「赤い羽根共同募金について」 ・車いす体験 ・アイマスク体験

白山	2	小学生	・車いす体験 ・アイマスク体験
(本部) 地域福祉課	1	津市職員	・講話「ユニバーサルデザインについて」 ・アイマスク体験

イ 福祉教育推進事業質問票の取組み

例年、学校関係者の協力を得て、福祉教育推進会議を開催し、福祉出前講座や赤い羽根共同募金運動等を推進していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議は開催せず、福祉教育に関する質問票を送付し、学校関係者との情報交換を行いました。

質問票回答校

(単位：校)

	小学校	中学校	高等学校	義務教育 学校	特別支援 学校	合計
回答数	19	5	4	1	1	30

ウ 地域を基盤とした福祉教育の推進

地域住民や関係機関等とともに、講座や体験等を企画実施する中で、地域の課題の解決に向けた取組みを行いました。

支部名	開催日	内容、参加者数
芸濃	4月～3月	【赤い羽根古本バザー】 古本バザーを通じて、寄附によるボランティア活動の推進、地域における環境リサイクル意識の醸成、赤い羽根共同募金への理解促進を図りました。
	10月～12月	【赤い羽根検定】 ～きみも赤い羽根サポーターになろう！～ 自分の地域のために使われる「赤い羽根共同募金」について理解を深めることを目的に開催しました。 (参加者数：小学生11人)

エ 福祉協力校推進事業

体験学習やボランティア活動を通じて社会福祉への理解と関心を深めるため、津市内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校を対象とし、申請があった学校を「福祉協力校」に指定して助成金を交付しました。指定を受けた学校は、社会福祉に関わる活動に取り組み、社会福祉への理解と関心を高めました。

(単位：校)

	小学校	中学校	高等学校	義務教育 学校	特別支援 学校	合計
指定校数	47	16	6	1	4	74

※福祉協力校名は、巻末資料のとおりです。(P34)

5 津市ボランティアセンターの運営

(1) ボランティアセンターの運営

各支部にボランティアセンターの窓口を設置し、ボランティア登録の受け付けやボランティア活動希望者とボランティア依頼者とのコーディネートを行いました。

ア 相談、調整、登録事業

ボランティアに関する相談やボランティアの登録を受け付け、地域の施設や関係団体からのボランティア活動依頼に対するコーディネートを行いました。

相談件数 延999件

イ ボランティア啓発事業

「ぼらん津」、「つ社協だより」を通じて情報提供に努めました。

また、三重とこわか国体・三重とこわか大会のボランティア募集に協力しました。

ウ 各種団体との連携

津市ボランティア協議会及び各地区ボランティア連絡会への協力、連携を行いました。

また、津市ユニバーサルデザイン連絡協議会へ参画しました。

エ ボランティア育成・推進事業

(ア) ボランティア育成講座

ボランティア活動へのきっかけづくりとして、また、各地域で必要とされているボランティアの育成を目的にボランティア講座を開催しました。

支部名	開催日	開催場所	内容、参加者数
美里	12月11日(金)	津市美里社会福祉センター	【子育て世代をささえるじいじ・ばあば】 ・子育て事情の“いま・むかし” (参加者数：18人)

(イ) ボランティア交流会

特定のボランティア活動を実施している活動者に焦点を当てて交流会を行うことにより、地域に必要な分野のボランティア活動の推進を図りました。

支部名	開催日	開催場所	内容、参加者数
久居	1月19日(火)	津市久居総合福祉会館	【子どもの“まなびば”検討会】 ・冬休みに実施した「まなびば」の反省 ・子どもの居場所づくりの必要性、ボランティアの確保等 (参加者数：6人)

オ ボランティア活動保険等の窓口業務

安心してボランティア活動が行えるように「ボランティア活動保険」及び「ボランティア行事用保険」を周知・啓発し、保険への加入を斡旋しました。

保険関係手続 556件

(2) 災害ボランティアセンターの周知・啓発及び災害ボランティアの登録

ア 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

南海トラフを震源域とした巨大地震に対する備えとして、令和元年11月、本会職員が派遣された栃木市の災害ボランティアセンターに関する詳細資料を用いて、図上で設置訓練を実施しました。

イ 津市との災害ボランティアセンターに関する連携

津市の担当部署とオンラインの協議も含め、3回協議を行いました。災害ボランティアセンター設置予定施設としてお城前公園を使えるように協議したほか、令和元年度から協議を続けていた「津市災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定」を締結しました。

また、津青年会議所とも災害時の相互協力に関する協定を締結し、災害ボランティアセンター設置・運営の基盤強化を図りました。

ウ 災害ボランティアの事前登録

平常時から災害に備えるとともに、災害時には関係機関と連携・協働し、災害ボランティア活動による被災地支援が行えるように災害ボランティアの事前登録を行いました。

登録者数：個人登録 98人、団体登録 4団体（55人）

6 一般介護予防事業（津市受託）

高齢者に対して介護予防や閉じこもり予防のための教室を開催し、地域で自立した生活ができるように支援しました。

ア 転倒予防教室

転倒予防の体操や講話等を実施し、転ばない体づくりを学び、寝たきりになることを予防するための転倒予防教室を開催しました。

開催回数	12回
参加者数	348人

※開催地域及び参加者数については、巻末資料のとおりです。（P35）

イ 認知症予防教室

認知症予防の講話やレクリエーション、創作活動等を実施し、認知症の予防についての理解を深めるとともに、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに向けて、認知症予防教室を開催しました。

開催回数	12回
参加者数	189人

※開催地域及び参加者数については、巻末資料のとおりです。（P35）

ウ 家族介護教室

家族を介護している方、また介護に関心のある方を対象に、介護の知識やリフレッシュ方法を学び、孤立を防ぐための家族介護教室を開催しました。

開催回数	2回
参加者数	34人

※開催地域及び参加者数については、巻末資料のとおりです。（P35）

エ 元気アップ教室

参加希望者を対象に、体力向上、介護予防の健康教育の取組みを通じて、要介護状態等になることを予防し、また、参加者自らが地域の活動に参加し、介護予防に取り組めるように支援する「元気アップ教室（基礎コース）・（継続コース）」を各教室7回（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から9月より開催）開催しました。

開催場所	年間参加者数（人）	
	基礎	継続
津市北部市民センター	66	138
津センターパレス	100	81
津市河芸ほほえみセンター	53	57
津市とことめの里一志	137	—
津市波瀬ふれあい会館	—	76
津市白山保健福祉センター	64	93
津市美杉高齢者生活福祉センター	43	91
合計	463	536

7 地域福祉推進事業

(1) 外出支援サービス事業

単独で外出することや公共交通機関の利用が困難な障がい者、高齢者等に対し、通院や社会参加等のための外出支援を行いました。

利用回数	実利用者数
220回	84人

(2) 社協ほっとサービス事業

誰もが住み慣れた地域で暮らすことができる地域づくりを推進するために、地域の繋がりや会員同士の支えあいによる生活支援の活動に取り組んできました。しかし、利用件数が減少するとともに、高齢化等による協力会員の退会が増加し、事業の継続が困難な状況にありました。その一方で、住民主体の生活支援活動に取り組む地域も生まれる等したことから、本会が実施する事業としては役割を終えたと判断し、令和3年3月末をもって廃止しました。

活動数	利用者数	活動時間
0回	0人	0時間

(3) 配食サービス事業（津市受託）

美杉地域において、概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、心身の障がい及び傷病によって調理が困難な方を対象に、栄養バランスのとれた弁当を配達するとともに安否確認を行い、安心した在宅生活を送れるように支援しました。

	利用者数 (人)	配食数 (件)	稼働日数 (日)
年 間	1 8 9	2, 1 3 1	2 4 3
月平均	1 5. 8	1 7 7. 6	2 0. 3

(4) 心配ごと相談事業

複雑・多様化する地域住民からの相談に対し、弁護士による法律相談を各地域で実施しました。

また、津支部では司法書士及び行政書士による専門相談も行いました。

5月の専門相談は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

事業種別	弁護士相談	司法書士相談	行政書士相談
相談所開設回数 (回)	4 7	1 0	1 0
利用者数 (人)	2 6 8	1 0 5	2 8

(5) 声の広報等発行事業 (津市受託)

津市内在住の視覚に障がいがある方等を対象に、社会活動への参加及び自立を促進するため、ボランティアグループ「津朗読会」の協力を得て、日常生活に関する情報をCDに録音し、声の広報を希望される方に配付しました。配付することにより、視覚に障がいがある方へ地域の情報を広く発信することができました。

ア 発行物及び回数

発行物	発行回数 (回)	対象者数 (人)
広報津	2 1	4 3 (延 7 3 9)
つ市議会だより	4	2 5 (延 9 5)
つ社協だより	5	3 2 (延 1 4 5)
暮らしの情報	1 2	4 0 (延 3 9 3)

イ 声の広報発行事業の充実

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
音声訳入門講座	10月7日(水)、14日(水)、21日(水)、28日(水)、11月4日(水)、11日(水)、18日(水) (全7回)	津センターパレス	音声訳ボランティアを増やすため、音声訳の入門講座を開催しました。講座終了後、参加した2人が「津朗読会」に入会しました。 (参加者数：2人)
音声訳技術向上のための自主研修会	毎月第1水曜日 (5月、8月、1月を除く)	津センターパレス	経験が浅い「津朗読会」の会員に対し、音声訳技術の向上を図るための研修会を開催しました。 (参加者数：延35人)

ウ 点字シール作成

ボランティアグループ「津点訳友の会」の協力を得て、視覚に障がいのある方への支援として、津市が送付する通知文書（封筒）の郵送用点字シールを作成しました。

依頼回数	5回
点字シール数	520枚

（6）敬老事業

各地区で実施される敬老事業について、事業に取り組む地区社協を支援する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、敬老事業は中止となりました。

（7）津市社会福祉大会

令和3年1月28日（木）に「第15回津市社会福祉大会」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。顕彰者には、賞状及び記念品等を、関係者には、大会パンフレットを郵送しました。

顕彰：市長表彰（民生委員・児童委員功労者）18人
（社会福祉活動功労者）3人
会長表彰（民生委員・児童委員功労者）37人
（社会福祉活動功労者）41人
（社会福祉活動優良団体）8団体
市長感謝（社会福祉事業協力援助者）1人、12団体
会長感謝（社会福祉事業協力援助者）1人、6団体

8 福祉団体等への支援

（1）福祉団体支援事業

ア 津市地区社協連絡協議会及び地区社協への支援

地区社協相互の情報交換や活動の推進に取り組む津市地区社協連絡協議会の運営及び活動を支援しました。

津市地区社協連絡協議会が計画していた設立5周年記念大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、代わりに新型コロナウイルス対策事業として取り組まれた非接触型体温計の各地区社協への配付を支援しました。

また、地域の特性に応じた福祉活動に取り組む津市内43の地区社協の支援を行いました。

イ 津市民生委員児童委員連合会及び地区民生委員児童委員協議会への支援

津市民生委員児童委員連合会の三役会、会長会議及び研修会等に参加・協力し、情報共有と連携強化に努めました。

各地区民生委員児童委員協議会に対しては、定例会等に参加し、地域の生活課題や福祉活動の状況等について情報共有を行い、相互に連携を図りながら、地域福祉活動の推進に努めました。

ウ その他の福祉団体への支援

地域を基盤とした福祉団体の活動を支援するとともに、連携・協働し、地域福祉の

推進に取り組みました。特に、津市老人クラブ連合会については、事務担当者の確保が困難な状況にあったことから、事務局機能を支援しました。

(2) 赤い羽根共同募金運動への支援・協力

社会福祉法人三重県共同募金会を支援し、津市共同募金委員会が実施する「赤い羽根共同募金運動」に協力しました。

「赤い羽根共同募金運動」では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら、各家庭からの戸別募金、企業や事業所からの法人募金、官公庁や企業の職員からの職域募金、小学校、中学校、高等学校等における児童・生徒からの学校募金、駅前等での街頭募金等、様々な共同募金運動を各地域で行いました。

また、同時に、地域の助けあいの形である共同募金を広く啓発することで、支えあえる地域づくりを推進しました。

ア 令和2年度赤い羽根共同募金運動の実績

目標額：40,087,900円

実績額：37,719,786円（達成率 94.09%）

イ 運営委員会の開催

回数	開催日	協議事項
第1回	6月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・決算関係書類について ・役員選任関係書類について ・予算関係書類について (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員に資料を送付し、意見書にて意見聴取を行うことで委員会の開催に代えました。)
第2回	9月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度津市共同募金委員会目標額について ・令和2年度津市共同募金委員会運動計画について (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員に資料を送付し、意見書にて意見聴取を行うことで委員会の開催に代えました。)
第3回	3月8日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・監事の補欠選任について ・令和2年度実績報告について ・共同募金改革について

ウ 審査委員会の開催

会議名	開催日	協議事項
津市共同募金委員会審査委員会	6月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度(令和3年度充当)共同募金配分申請について (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員に資料を送付し、意見書にて意見聴取を行うことで委員会の開催に代えました。)

エ 監査の開催

会議名	開催日	監査事項
津市共同募金委員会監査	4月27日(月)	・令和元年度津市共同募金委員会会計決算の監査

(3) 共同募金配分金事業

地域で協力いただいた赤い羽根共同募金を配分金として、地域福祉推進のために実施する地区社協及び福祉団体の事業に助成を行いました。

地区社協 22,096,476円

福祉団体等(36団体) 3,406,900円

※上記の金額は、申請に基づいた配分額であり、事業変更による返還分は含んでいません。

(4) 福祉人材育成事業

大学からの社会福祉援助技術実習の依頼により、福祉マンパワーの育成を目的に実習生を受け入れました。

また、地域包括支援センターでは、在宅看護論実習の依頼により看護実習生を、居宅介護支援事業所では、介護支援専門員実務研修の受入れを行いました

(単位：人)

実習内容	人数
社会福祉士養成実習	3
看護師養成実習	17
介護支援専門員実務研修	2

9 管理運営事業

(1) 津市まん中老人福祉センター事業(津市受託)

津市まん中老人福祉センターの管理運営を通じ、高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションの場を提供しました。

また、新型コロナウイルス感染防止対策として、利用時の検温や手指消毒、マスク着用等の基本的な感染予防を徹底したほか、分散利用を図る等、新しい生活様式を取り入れた運営に努めました。

ア 開館日数 : 278日(月～土曜日 休館：日曜・祝日・年末年始)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月23日(木)から5月14日(木)まで休館しました。

イ 利用者総数 : 11,141人(1日平均 40.1人)

ウ 利用内訳 : ・教養娯楽室(ヘルストロン、マッサージ機他) 延8,039人
 ・相談室(囲碁・将棋) 延1,220人
 ・集会室(卓球) 延1,866人
 ・カラオケ室(カラオケ) 延493人

- ・和室（休憩・歓談・昼食） 延1,796人
- ・まん中さわやか教室（10回、毎月第2火曜日） 延54人
- ・けんこうチェック（看護師相談17回、毎月第2・4火曜日）
延263人

（２）生活支援ハウス運営事業（２か所）（津市受託）

美里生活支援ハウス及び美杉生活支援ハウスにおいて、津市内に住所を有する高齢者に対し、住居機能や生活支援、交流の機会を提供することで、健康で明るい生活が送れるように支援しました。

なお、美里生活支援ハウス運営事業は、令和3年3月末をもって廃止となりました。

（単位：人）

施設名	利用者数
美里生活支援ハウス	月平均 1.0
美杉生活支援ハウス	月平均 7.2

Ⅲ 生活支援事業

1 日常生活自立支援事業（県社協受託）【重点目標4関係】

津日常生活自立支援センターとして、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理等の援助を行いました。

また、事業の拠点化により、専任の職員による支援体制の構築に努めました。

ア 支部別利用者数及び支援回数

	生活支援課	久居	河芸	美里	一志	白山	美杉	合計
利用者数（人）	204	54	20	0	8	15	1	302
年間支援回数（回）	5,383	1,108	465	0	236	487	14	7,693

イ 相談件数（問い合わせ・初回相談・相談援助）

（単位：件）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
問い合わせ	59	30	57	20	166
初回相談	62	27	51	5	145
相談援助	1,399	1,758	2,590	115	5,862
合計	1,520	1,815	2,698	140	6,173

ウ 三重県社会福祉協議会主催の研修会等への参加

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
新任生活支援員研修会	3月1日(月) ～31日(水)	オンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「本事業の概要と地域における役割について」 ・事例紹介 (参加者数：職員10人)

2 生活困窮者自立相談支援事業（津市受託）【重点目標4関係】

複合的な課題を抱えた方の相談に応じ、各々の抱える課題を包括的に把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認し、一人ひとりの状況に合わせた支援計画を作成しました。専門の支援員が寄り添いながら、関係機関等と連携して、問題解決に向け支援を行いました。

また、地域全体での支援体制づくりの推進に向け、関係機関に事業説明を行い、周知を図りました。

ア 支援件数

延相談件数	新規相談実人員数	プラン作成件数
3,643件	491人	32件

イ 総合支援資金コロナ特例貸付に伴う相談支援件数（単位：件）

特例・延長貸付者相談件数	445
再貸付者相談件数	179

ウ 全国・県・市等の関係機関研修会への参加

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
生活困窮者自立支援制度に係る主任相談支援員意見交換会	11月12日(木)	津市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での自立相談支援について ・生活困窮者自立支援の基本的な考え方について ・主任相談員の役割について (参加者数：職員1人)
生活困窮者自立支援制度東海・北陸ブロック別研修会	12月9日(水) ～10日(木)	オンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「生活困窮者支援制度のめざすもの～地域共生社会への展開～」 ・シンポジウム「コロナ禍でどう生活を支援しているかー任意事業、他組織との連携を生かす」

			・シンポジウム「相談の多様性と支援プロセスの留意点」 (参加者数：職員1人)
ひきこもり状態にある者への支援研修会(後期)	1月25日(月)	オンライン開催	(後期テーマ別) ・相談支援の展開における支援関係の構築 ・ひきこもりの状態の人への相談支援に関わる社会資源 ・他機関との連携による相談支援 ・ひきこもりの状態にある人への相談 (参加者数：職員1人)
庁内連携会議	3月23日(火)	津市役所	・援護課における生活困窮者自立支援制度及び現下の状況について ・各課における支援状況調査について (参加者数：職員1人)

エ 事業啓発活動

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
外国人住民向け生活相談会	8月29日(土)	津リージョンプラザ	・「外国人住民向け生活相談会」 (参加者数：8人)
津中部北地域包括支援センター地域ケア会議	10月26日(月)	津生協病院	・家族支援が望めないアルコール依存症前期高齢者の退院後の生活について (参加者数：7人)
皇學館大学全学部共通科目「人生と仕事」	12月23日(水)	皇學館大学	・津市社会福祉協議会について ・生活困窮者自立相談支援事業について (参加者数：186人)
皇學館大学社会福祉士相談援助実習 学内実習	2月25日(木)	皇學館大学	・生活困窮者自立相談支援事業について (参加者数：11人)

津中部中地域包括支援センター 地域ケア会議 (地域関係者)	3月4日(木)	津市北部市民センター	・地域で見守るとは？ (地域福祉関係者情報共有) (参加者数：13人)
-------------------------------------	---------	------------	---

オ アンケート調査協力

内容	依頼先
生活困窮者自立支援制度の新たな評価指標	厚生労働省社会・援護局
みえ労働・自治体アンケート	三重県労働組合総連合
生活困窮者自立支援制度の実施状況の把握・分析等に関する調査研究事業	厚生労働省社会・援護局
相談支援機関等におけるひきこもり支援の状況調査	三重県子ども・福祉部地域福祉課
住宅相談の件数等の調査	三重県居住支援連絡会
生活困窮者自立支援法等に基づく各事業の令和元年度事業実績調査	厚生労働省社会・援護局

3 生活困窮者家計改善支援事業（津市受託）

家計に問題を抱えている生活困窮者等からの相談に応じ、必要な情報提供や専門的な助言・指導等を行い、早期に家計が改善されるように支援しました。

また、自立支援機関等の関係機関と連携し、相談者の課題解決に向け共に取り組みました。

ア 支援件数 (単位：件)

申込件数	プラン作成件数	支援終了件数	継続支援件数
6	7	5	9

イ 支援回数 (単位：回)

来所	訪問	電話	合計
95	130	177	402

4 成年後見サポートセンター事業（津市受託）【重点目標4関係】

認知症や障がいがあっても住み慣れた地域で安心した生活が送れるように、成年後見制度に関する相談に対応し、成年後見制度を利用するための手続き、申立、後見活動等の支援、法人後見事務を行いました。

また、オンライン研修会等に積極的に参加し、担当相談支援員の資質向上を図りました。

更に、成年後見制度利用促進法に基づいた中核機関の設置について、令和4年度受託に向けて、津市及び家庭裁判所と協議を行いました。

ア 相談援助及び普及啓発の状況 (単位：件)

相談援助	申立援助 (実件数)	普及啓発活動	法人後見人等受任
231	42	2	5 (後見人2、保佐人3)

イ 津市成年後見サポートセンター運営委員会

回数	開催日	協議事項
第1回	3月11日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長、副委員長の選任について ・法人後見受任審議 2件 ・中核機関の設置に向けての進捗状況について (出席委員：12人)

5 生活福祉資金貸付事業（低所得者支援事業）（県社協受託）

低所得世帯・高齢者世帯・障がい者世帯に対する生活福祉資金の貸付と、民生委員・児童委員の協力による必要な援助指導を行い、安定した生活を送れるように支援しました。

新型コロナウイルス感染拡大にともなう特例貸付制度の運用が本格稼働し、通常貸付も含めた相談件数及び貸付件数は、前年度より大幅に増加しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯からの教育支援資金等の相談支援についても、民生委員・児童委員との有機的な連携を通じて、効果的に行うことができました。

ア 通常相談件数及び貸付件数 (単位：件)

相談件数	174
貸付件数	85

※地域別の相談件数及び貸付件数は、巻末資料のとおりです。(P36)

イ コロナ特例貸付相談件数及び貸付件数 (単位：件)

相談件数	4,090
貸付件数	1,883

※地域別の相談件数及び貸付件数は、巻末資料のとおりです。(P36)

ウ 三重県社会福祉協議会主催の研修会へ参加

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	2月17日(水)	オンライン開催	・生活福祉資金コロナ特例貸付制度の運用について (参加者数：職員5人)

エ 調査協力

厚生労働省及び全国社会福祉協議会が行う調査に協力しました。

生活福祉資金借受世帯支援記録票整備状況報告

6 生活困窮者対策支援事業

生活困窮世帯（緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯）に、生活に必要な食糧や消耗品等を提供することで、生活再建への支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯から、食糧や物品等の支援について相談が多く寄せられ、支援件数が大幅に増加しました。

また、生活福祉資金貸付事業と連携し、貸付決定までの一時的な生活維持を本事業にて図ることができました。

件数	(単位：件)
緊急食糧提供事業	364
緊急時物品等支援事業	56
就労活動支援事業	0

※地域別の緊急食糧提供件数は、巻末資料のとおりです。(P36)

IV 介護サービス事業

1 介護保険サービス

(1) 居宅介護支援事業

北部事業所、白山事業所、美杉事業所において、介護サービス利用者の介護状態に応じて、利用者や家族の意向に沿った居宅サービス計画を作成しました。

ア 事業所別居宅サービス計画作成件数 (単位：件)

	北部	白山	美杉	合計
居宅サービス計画	1,468	2,657	1,458	5,583
介護予防サービス計画	385	763	237	1,385
合計	1,853	3,420	1,695	6,968
ケアマネ1人当たりの担当件数	30.6	39.7	35.6	平均35.3

イ 介護度別利用件数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援	合計
利用件数(件)	2,264	1,656	932	452	279	1,385	6,968
割合(%)	32.5	23.7	13.4	6.5	4.0	19.9	100

(2) 訪問介護事業

北部事業所、白山事業所において、津市全域を対象に、利用者の自立に向けた支援として、身体介護や生活援助のサービスを実施しました。

事業所の参入が少ない地域へは、積極的な支援継続に努めました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者訪問への影響がありました。

ア 事業所別利用延回数

(単位：回)

	北部	白山	合計
要介護	5,089	9,402	14,491
要支援	1,835	2,863	4,698
合計	6,924	12,265	19,189

イ 介護度別利用延回数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援	合計
利用回数(回)	6,666	3,164	1,668	1,925	1,068	4,698	19,189
割合(%)	34.7	16.5	8.7	10.0	5.6	24.5	100

(3) 通所介護事業

ア 美里事業所、美杉事業所は、地域密着型通所介護事業所として、一志事業所は、通常規模型事業所として、日常生活上の支援や生活行為向上のための支援を日帰りで提供しました。

通所介護事業の見直しを行い、令和3年3月末で美里事業所及び一志事業所を廃止しました。

(ア) 事業所別利用延回数

	美里	一志	美杉	合計
要介護(回)	1,385	2,163	577	4,125
要支援(回)	381	616	166	1,163
合計	1,766	2,779	743	5,288
事業日数(日)	217	234	93	544
1日の平均利用者数(人)	8.1	11.9	8.0	9.7

(イ) 介護度別利用延回数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援	合計
利用回数(回)	2,206	1,125	784	10	0	1,163	5,288
割合(%)	41.7	21.3	14.9	0.1	0	22.0	100

イ 白山事業所は、介護予防・日常生活支援総合事業の生活支援通所サービスを行いました。

通所介護事業の見直しを行い、令和3年3月末で白山事業所を廃止しました。

(ア) 利用延回数

	白山
要支援 (回)	0
事業対象者 (回)	94
合計	94
事業日数 (日)	39
1日の平均利用者数 (人)	2.4

(イ) 介護度別利用延回数

	要支援1	要支援2	事業対象者	合計
利用回数 (回)	0	0	94	94
割合 (%)	0	0	100	100

2 障がい福祉サービス

(1) 障がい者相談支援事業 (特定相談支援事業)

障がいのある方の自立した生活を支えるため、サービス等利用計画書を作成し、福祉サービス利用の支援を行いました。

契約件数等 (単位: 件)

契約件数	23
計画作成件数	95
モニタリング件数	150

(2) 障がい者居宅介護等事業

ア 介護給付事業

北部事業所、白山事業所において、障がいのある方が住み慣れた地域で自分らしい自立した生活が送れるように、居宅介護・同行援護の支援を行いました。

外出時の介助を行う同行援護については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、利用者にはできる限り影響がないように支援調整を行いました。支援を中止した時期もありました。

事業所別利用延回数 (単位: 回)

	北部	白山	合計
居宅介護	1,367	714	2,081
同行援護	424	12	436
合計	1,791	726	2,517

イ 地域生活支援事業（市町受託）

北部事業所、白山事業所において、障がいのある方に外出のための移動支援を行いました。

公共交通機関を使用する機会の多い移動支援は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、利用者にはできる限り影響がないように支援調整しましたが、支援を中止した時期もありました。

事業所別利用延回数

(単位：回)

	北部	白山	合計
移動支援	62	415	477

3 地域包括支援センター事業（津市受託）【重点目標4関係】

津北部東及び津一志地域包括支援センターにおいて、高齢者が住み慣れた自宅や地域で生活できるように、介護・福祉・保健・医療等の関係機関や地域の関係者と連携を強化し、包括的な支援に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、複数が出席する会議や研修を見合わせ、オンラインにて開催しました。

(1) 相談件数

ア 内容別相談件数

(単位：件)

	総合相談	介護相談	介護保険サービス		その他のサービス	ケアマネジメント等	虐待・権利擁護	その他	合計
			介護	予防					
津北部東	1,386	11	223	127	15	27	11	0	1,800
津一志	1,015	13	841	186	83	33	14	68	2,253
合計	2,401	24	1,064	313	98	60	25	68	4,053

イ 形態別相談件数

(単位：件)

	来所	訪問	電話	その他	合計
津北部東	305	493	987	15	1,800
津一志	208	914	1,105	26	2,253
合計	513	1,407	2,092	41	4,053

(2) 会議等による地域連携・多職種連携等の件数

(単位：件)

	地域ケア会議	地域連携会議	多職種連携会議	ケアマネ支援研修等	その他	合計
津北部東	12	0	0	3	0	15
津一志	19	7	0	0	16	42
合計	31	7	0	3	16	57

(3) 介護予防プラン作成件数 (単位：件)

	作成件数	委託件数	合計
津北部東	410	1,487	1,897
津一志	991	2,946	3,937
合計	1,401	4,433	5,834

4 要介護認定調査事業（津市受託）

(1) 介護保険要介護（要支援）認定調査

津市の指定市町事務受託法人として、調査の正確性や公平性の確保に努め、津市全域の認定調査を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱いにより、認定有効期間を12か月延長できることとなり、要介護認定依頼件数の減少がありました。

	件数
津市からの委託	10,967
他市町村及び広域連合	305
合計	11,272

※内 39件は他市町村より直接依頼分

(2) 認定調査員研修会の開催

研修名	開催日	内容、出席者数
認定調査員現任者研修会 (本会主催)	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止	

V 収益事業

1 地域貢献型自動販売機の設置

自動販売機の売上による収益は、1,987,419円ありました。収益金は、地域福祉事業の財源に充てるため、社会福祉事業区分へ繰り入れました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、期間を設けて閉鎖した施設があったことから、当該事業収入は減少しました。

公共施設等への自動販売機の設置 19台（11か所）

<巻末資料>

I 法人運営事業

1 円滑な法人運営

(1) 理事会・評議員会等の開催

P 3

ア 理事会の開催

各理事会における審議事項等

回数	開催日	審議事項等
第1回	6月5日(金) (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none">・社会福祉法人津市社会福祉協議会参与の選任について・社会福祉法人津市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について・社会福祉法人津市社会福祉協議会第1回評議員選任・解任委員会の招集について・社会福祉法人津市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について・社会福祉法人津市社会福祉協議会役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について・社会福祉法人津市社会福祉協議会臨時職員及びパートタイム職員就業規則の一部改正について・令和元年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業報告及び決算報告について・令和2年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第1号)について・社会福祉法人津市社会福祉協議会第1回評議員会の招集について
第2回	7月1日(水)	<ul style="list-style-type: none">・社会福祉法人津市社会福祉協議会会長の選任について・社会福祉法人津市社会福祉協議会顧問の選任について
第3回	9月8日(火)	<ul style="list-style-type: none">・社会福祉法人津市社会福祉協議会会長の職務執行状況の報告について・社会福祉法人津市社会福祉協議会常務理事の職務執行状況の報告について・社会福祉法人津市社会福祉協議会福祉サービスに関する苦情解決事業における第三者委員の選任について・令和2年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第2号)について・社会福祉法人津市社会福祉協議会第2回評議員会の招集に

		について
第4回	12月11日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会登録ヘルパー就業規則の一部改正について ・令和2年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第3号)について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第3回評議員会の招集について
第5回	3月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会会長の職務執行状況の報告について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会常務理事の職務執行状況の報告について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会定款の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会役員選任及び評議員選出規程の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会法人印管理規程の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会安全衛生管理規程の一部改正について ・令和2年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第4号)について ・令和3年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業計画について ・令和3年度社会福祉法人津市社会福祉協議会当初予算について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第4回評議員会の招集について

理事会出席者数

(単位:人)

回数	理事			監事		
	出席者数	欠席者数	欠員数	出席者数	欠席者数	欠員数
第1回	15	0	0	2	0	0
第2回	15	0	0	2	0	0
第3回	14	1	0	1	1	0
第4回	10	5	0	1	1	0
第5回	13	2	0	2	0	0

イ 評議員会の開催

各評議員会における審議事項等

回数	開催日	審議事項等
第1回	6月23日(火) (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会理事の選任について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について ・令和元年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業報告及び決算報告について ・令和2年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第1号)について
第2回	9月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第2号)について
第3回	12月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第3号)について
第4回	3月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人津市社会福祉協議会定款の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会役員選任及び評議員選出規程の一部改正の報告について ・令和2年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算(第4号)について ・令和3年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業計画について ・令和3年度社会福祉法人津市社会福祉協議会当初予算について

評議員会出席者数

(単位:人)

回数	評議員			監事		
	出席者数	欠席者数	欠員数	出席者数	欠席者数	欠員数
第1回	31	0	0	—	—	—
第2回	26	5	0	2	0	0
第3回	18	13	0	2	0	0
第4回	23	8	0	2	0	0

II 地域福祉事業

4 地域福祉教育推進事業

P 1 3

エ 福祉協力校推進事業

福祉協力校名

小学校			
養正小学校 修成小学校 南立誠小学校 北立誠小学校 敬和小学校 育生小学校 新町小学校 藤水小学校 高茶屋小学校 神戸小学校 安東小学校 楡形小学校 雲出小学校	一身田小学校 白塚小学校 栗真小学校 片田小学校 大里小学校 高野尾小学校 西が丘小学校 豊が丘小学校 誠之小学校 成美小学校 桃園小学校 戸木小学校 栗葉小学校	榊原小学校 立成小学校 上野小学校 黒田小学校 千里ヶ丘小学校 豊津小学校 芸濃小学校 明小学校 草生小学校 村主小学校 安濃小学校 明合小学校 香良洲小学校	一志東小学校 一志西小学校 家城小学校 川口小学校 大三小学校 倭小学校 八ッ山小学校 美杉小学校 (47校)
中学校		高等学校	義務教育学校
西橋内中学校 南郊中学校 西郊中学校 一身田中学校 一身田中学校国児分校 セントヨゼフ女子学園中学校 久居中学校	久居西中学校 久居東中学校 朝陽中学校 芸濃中学校 東観中学校 香海中学校 一志中学校 白山中学校 美杉中学校 (16校)	高田高等学校 セントヨゼフ女子学園高等学校 久居高等学校 久居農林高等学校 一志学園高等学校 白山高等学校 (6校)	みさとの丘学園 (1校) 特別支援学校 かがやき特別支援学校 聾学校 盲学校 稲葉特別支援学校 (4校)

6 一般介護予防事業

P 1 5

ア 転倒予防教室

開催地域及び参加者数

(単位：人)

開催日	開催地域	参加者数	開催日	開催地域	参加者数
9月30日(水)	芸濃	4	12月24日(木)	津	39
10月2日(金)	香良洲	29	1月28日(木)	津	48
10月22日(木)	津	38	2月25日(木)	津	39
11月19日(木)	河芸	8	2月26日(金)	美里	19
11月26日(木)	津	47	3月5日(金)	芸濃	11
12月9日(水)	安濃	11	3月25日(木)	津	55

P 1 5

イ 認知症予防教室

開催地域及び参加者数

(単位：人)

開催日	開催地域	参加者数	開催日	開催地域	参加者数
10月9日(金)	津	13	12月11日(金)	津	15
10月13日(火)	一志	15	1月8日(金)	津	11
11月10日(火)	美里	24	1月15日(金)	香良洲	19
11月13日(金)	津	12	2月12日(金)	津	14
11月20日(金)	白山	24	3月12日(金)	津	15
12月10日(木)	河芸	9	3月12日(金)	安濃	18

P 1 5

ウ 家族介護教室

開催地域及び参加者数

(単位：人)

開催日	開催地域	参加者数	開催日	開催地域	参加者数
11月12日(木)	一志	22	11月13日(金)	芸濃	12

Ⅲ 生活支援事業

5 生活福祉資金貸付事業（低所得者支援事業）

P 2 5

ア 通常相談件数及び貸付件数

(単位：件)

	津	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
相談件数	1 0 1	3 8	6	5	7	3	1	1 1	2	0	1 7 4
貸付件数	6 4	1 2	2	0	2	0	0	2	3	0	8 5

P 2 5

イ コロナ特例貸付相談件数及び貸付件数

(単位：件)

	津	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
相談件数	3, 244	497	166	12	8	3	3	66	89	2	4, 090
貸付件数	1, 491	225	78	2	2	1	2	32	50	0	1, 883

6 生活困窮者対策支援事業

P 2 5

緊急食糧提供事業地域別件数

(単位：件)

	津	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
提供件数	2 8 5	4 6	0	3	2	0	2	3	1 4	9	3 6 4